

臨床研究に関する情報公開

情報公開をする理由

インフォームドコンセントを受けない場合において、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」第5章12.(2)イに基づき、以下の通りに消化器内科のホームページに情報公開いたします。

研究演題名

当院で経験した30症例の腸管スピロヘータ症の検討

研究期間

2016年3月31日までです。

研究意義

腸管スピロヘータ症(*Brachyspira* 属の *Brachyspira pilosicoli* と *Brachyspira aalborgi* の2菌種による腸管感染症で、細菌は大腸粘膜上皮に付着します。下痢、血便、腹痛などを伴うこともありますが、無症状の人も多くいます)は、日本では1998年に中村らによって初めて報告されました。その後報告数は増えてきており、当院では2008年に最初の症例を経験しています。しかし病原性について、またどのような症例に対して治療介入をしたらよいのか明らかにはなっていません。今回の目的は、我々は今までに当院で経験した30症例の腸管スピロヘータ症を集計し、分析することにより、病的意義や治療介入が必要な症例を明らかにすることです。

研究目的

当院で経験した30症例の腸管スピロヘータ症の症例を分析することにより、病的意義を明らかにすることです。

研究方法

2008年1月1日から2015年3月31日までに自治医科大学附属病院内視鏡部で、病理組織標本に基づいた検索の結果、腸管スピロヘータ症と診断された症例が対象です。診療録に基づき性別、年齢、症状、既往歴、併存症、内視鏡所見、培養している症例では分離同定されている菌種、症状があり除菌を施行している場合にはその後の症状、内視鏡所見、組織学的な検査について後ろ向きに検討します。

研究機関

自治医科大学内科学講座消化器内科学部門

個人情報の保護について

患者さん個人を特定する情報が公開されることはありません。

また、研究対象となることを拒否する場合は、下記にお問い合わせ頂ければ拒否することは可能であり、拒否しても患者様には不利益は生じません。なお連絡が届いた時点で、すでに研究成果が発表され修正が不能である場合があります。

結果の公表

国内外の学会・医学雑誌などで、研究成果を発表することを予定しています。被験者個人の情報は一切公表しません。

問合せ先

【研究責任者】

自治医科大学内科学講座消化器内科学部門 竹澤敬人

〒320-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1

TEL 0285-58-7348

【苦情の窓口】

自治医科大学研究支援課

TEL 0285-58-7576